

人生で何冊の本が読めるのか。 人生を変える本に何冊出会えるのか。

この夏、圧倒的な読書体験をしよう。平安堂スタッフがおすすめする厳選100冊。

小説

【名作】

氷壁

井上靖

新潮社/¥990

ジョバンニは旅に出た。夜空を巡る銀河鉄道の旅。銀河の壮麗な情景の中、孤独と哀しみを乗り越えた先に見つかるものは？

深い河

遠藤周作

講談社/¥858

「深い河」は誰の心にもある—21世紀に生きる私達に遠藤周作が遺した渾身のメッセージ。

マスク

スペイン風邪をめぐる小説集

菊池寛

文藝春秋/¥682

スペイン風邪が流行した100年前。その様子はコロナ禍の現在とあまり変わらない。実体験を基にした表題作を含む短編集。

ノックの音が

星新一

新潮社/¥539

全編「ノックの音がした」で始まる短編集。すべてに面白さと意外な結末がある。ドアの向こうに待っているのは果たして何か？！

金閣寺

三島由紀夫

新潮社/¥737

昭和25年に起きた事件を題材にした、三島の代表作であり、彼の内面を映した青春小説。ぜひ一度はお読みいただきたい名作。

銀河鉄道の夜

宮沢賢治

KADOKAWA/¥484

ジョバンニは旅に出た。夜空を巡る銀河鉄道の旅。銀河の壮麗な情景の中、孤独と哀しみを乗り越えた先に見つかるものは？

【現代文学】

木曜日にはココアを

青山美智子

宝島社/¥704

一杯のココアから始まる連作短編集。人と人が緩やかに繋がり、誰かが誰かのためになる。優しい世界に心癒される一冊。

武道館

朝井リョウ

文藝春秋/¥737

武道館ライブを目指すアイドルグループのメンバーが主人公!リアルな人間模様へ引き込まれます。

クジラの彼

有川浩

KADOKAWA/¥607

自衛官との恋は普通にはない障害がいっぱい!自衛隊の様子をリアルに描きつつ、少女漫画のような甘さにとときめく恋愛短編集。

ツバキ文具店

小川糸

幻冬舎/¥660

ゆっくりと流れる時間に癒され、代書屋の主人公の丁寧な暮らしと誠実な仕事(手紙)に心温まる、夢のように素敵な世界。

海に見える理髪店

荻原浩

集英社/¥638

この本には6つの物語(家庭)が描かれている。負の過去から明るい未来に繋がる心の変化とその過程が、読後の余韻となって残る。

ひと

小野寺史宜

祥伝社/¥759

天涯孤独になってしまった青年は、1個のコロケをきっかけに「ひと」と繋がり始める。普通に正しく生きる人々の心地良い物語。

紙の月

角田光代

角川春樹事務所/¥649

平凡な主婦は、どこで道を間違えたのか。過剰にも見える行動や犯罪も、実はすぐ隣にあるのかもしれないと思えるリアルさがある。

さざなみのよる

木皿泉

河出書房新社/¥660

ナスミの死を通して、残された人々は自分の人生を振り返り、未来へ希望を繋いでいく。死は悲しみだけを残すわけではないのだ。

その日のまえに

重松清

文藝春秋/¥770

身近な人を失う「その日」を描いた短編集。誰にでも訪れるその日。この瞬間を丁寧に生き、大切な人を大事にしようと思える一冊。

麦本三歩の好きなもの

第一集

住野よる

幻冬舎/¥693

どこにでもいそうな図書館勤務の20代女子「麦本三歩」の日常を描いた短編集。何も起こらない毎日が、なんだか幸せに感じる一冊。

そして、バトンは

渡された

瀬尾まいこ

文藝春秋/¥814

これはもう泣きかかない!家族の在り方はどんな形でもいいんだと素直に思える。大切な人に読んでほしい、温かな物語です。

ありえないほど

うるさいオルゴール店

瀧羽麻子

幻冬舎/¥737

人の心の音楽が聞こえる不思議な能力を持つオルゴール店主。訪れる人々は、やがて新たな一歩を踏み出していく。感動の物語。

かがみの孤城 上下

辻村深月

ポプラ社/各¥858

不登校の少女が鏡の中で出会ったのは、学校で問題を抱える子どもたち。思春期の感情や大人にも共通する悩みに共感できる物語。

さくら

西加奈子

小学館/¥660

人は優しくそして強い。どんな状況でも必ず立ち上がって歩き出す。家族の崩壊と再生、それを暖かく見守

る老犬。かなり泣けます。

暗幕のゲルニカ

原田マハ

新潮社/¥880

一度でいいから本物のゲルニカを見たくなる。主人公はMoMAにゲルニカを展示するため奔走。まるでノンフィクションのような小説。

火花

又吉直樹

文藝春秋/¥660

又吉の書く芸人が、本人の芸風と全く違うのも面白い。読みやすく、活字の堅苦しさを感じさせない一冊。

夜空に泳ぐ

チョコレートグラミー

町田そのこ

新潮社/¥693

狭い水槽の中に閉じ込められた様な苦しみと悲しみ。その中を必死に泳がなければならない女性たち。だがその姿は強く美しい。

舟を編む

三浦しをん

光文社/¥682

言葉に人生を懸ける人たちの情熱と恋と涙の物語。辞書編纂のお仕事小説かと思いきや、キュンとする恋愛エピソードも満載です。

夜行

森見登美彦

小学館/¥671

謎の連作絵画「夜行」。その一枚が「天竜峡」。絵画にまつわる不気味な体験と不思議な世界観。読後に様々な解釈が楽しめる一冊。

JR上野駅公園口

柳美里

河出書房新社/¥660

上野公園のホームレスは東北出身者が多いという。出稼ぎのため上野駅に降り立ち、帰る場所を失くし彷徨う者の生き様を描いた力作。

キャンセルされた街の

案内

吉田修一

新潮社/¥539

何者でもない人の何でもない日常。何気なく過ぎる一瞬を切り取った掌編に、その時の思いを委ねる。ふとした時に読み返す一冊。

ミステリー

十角館の殺人

綾辻行人

講談社/¥946

日本ミステリーの歴史を変えた傑作。舞台、トリック、構成、全てが斬新。未読ならば、その人は金の価値を持っているに等しい。

重力ピエロ

伊坂幸太郎

新潮社/¥825

連続放火と謎のグラフィティアート、遺伝子、家族の過去。これらの事柄から謎解きが始まる。どんな結末が想像できますか？

Rのつく月には

気をつけよう

石持浅海

祥伝社/¥628

お酒もミステリーも大好きなあなたに、この一冊を。謎解きをつまみに、至福のひとときをお過ごしください。

ジェリーフィッシュは

凍らない

市川憂人

東京創元社/¥858

小型飛行船の中で起こる殺人事件。読んでいて感じる違和感が、全て伏線になっている驚異!

- 店頭にはない商品はお取り寄せいたします。出版社における品切れ、価格改正の際はご容赦ください。
- 表示価格は税込価格です。

屍人荘の殺人

今村昌弘

東京創元社／¥814

『死の相続』に並ぶ大奇想。年末の各種ランキングを総なめにした破格のデビュー作にして本格ミステリーの新定番というべき傑作!

残穢

小野不由美

新潮社／¥693

読んだことを後悔するほどの恐怖。それは読後にじっとりとする。もはや一人で家にいられない。本を手にした私も「穢れ」に感染…?

新世界より

上・中・下

貫志祐介

講談社／

上¥902 中¥880 下¥990

主人公・早季の手記として三部で構成。千年後「神の力」を得た人類。そこにあるのは禁忌、阿鼻叫喚、希望…。日本SF大賞受賞作。

空飛ぶ馬

北村薫

東京創元社／¥792

大きな事件は起きない。誰も死なない。些細な謎を解いていくだけなのに何故か謎解きに引き込まれてしまう、そんな推理小説。

遠野物語remix

京極夏彦 柳田國男

KADOKAWA／¥660

「順番が肝心なのですよ。」京極夏彦のフィルターを通し、「遠野物語」に新たな道筋が作られる。原著が苦手な方にもおすすめ。

神の手

上・下

久坂部羊

幻冬舎／各¥755

コロナ禍で、命の危うさを身近に感じるようになりました。安楽死・延命等、命について考えさせられる一冊です。

アリス殺し

小林泰三

東京創元社／¥814

最重要容疑者はアリス!夢と現実がリンクした連続殺人事件の真相とは? 邪悪でグロテスクな不思議の国へようこそ。

罪人が祈るとき

小林由香

双葉社／¥748

いじめで我が子を失った父親。正に今いじめを受けている少年。復讐を一人で家にいられない。本を手にした私も「穢れ」に感染…?

ハサミ男

殊能将之

講談社／¥968

ラストの衝撃的な展開にまんまと騙されました。「世界一受けたい授業」で有田哲平さんもイチオシの話題作!

幽霊人命救助隊

高野和明

文藝春秋／¥935

地上と天国の間点に集められた4人の幽霊。天国へ行く方法はただひとつ。幽霊たちよ、100人の自覚志願者の命を救え!

ひとつむぎの手

知念実希人

新潮社／¥781

過酷な勤務の中、出世のため色々な難題に直面する医師。患者や研修医達と向き合い、自分のやりたい医療を追い求める姿を描く。

夜市

恒川光太郎

KADOKAWA／¥572

妖怪が開く「夜市」はあらゆるものを売っている。ある才能を買った少年は再び「夜市」へ。引き換えに売ったものを取り戻すために。

ON

猟奇犯罪捜査班・藤堂比奈子

内藤了

KADOKAWA／¥704

「正義」とは何か?連続する凄惨な自死事件と猟奇暴行殺人事件の裏に潜む悲しき真実とは? 衝撃的ホラーミステリーの第一弾。

午後からはワニ日和

似鳥鶏

文藝春秋／¥693

楓ヶ丘動物園の個性豊かな飼育員たちがワニ盗難の謎に挑む! クスッと笑える面白ミステリー。再読必至です。

ポストコロナのSF

日本SF作家クラブ 編

早川書房／¥1,166

「事実は小説より奇なり」。コロナ禍生活の私たちに向けた、19人の作家によるコロナ後の世界。これはSF? 現実? さてどっちだ?!

手紙

東野圭吾

文藝春秋／¥792

犯罪加害者を家族に持ちながら生きるという、計り知れない苦悩と葛藤。自分ならどうするか。深く考えさせられる一冊。

甘美なる誘拐

平居紀一

宝島社／¥880

事件に振り回されるのは登場人物か? それとも読者か? 第19回「このミステリーがすごい!」大賞・文庫グランプリ受賞作。

あの日、君は何をした

まさきとしか

小学館／¥792

大切な息子を失った母親の愛は、人知れず狂気となる。一見幸せそうな家庭が、息子の死により崩壊。心の闇はこれほどまでに深い。

往復書簡

湊かえな

幻冬舎／¥737

手紙のやり取りだけで物語が進み、過去の「事件」が明らかになる。SNSが主流のこの時代、新鮮な手法の連作ミステリー。



ブルックリン・

フォリーズ

ポール・オースター

新潮社／¥880

9.11へと続く転換期の中で織られる人生の悲喜劇。誰かと繋がる事がとても幸せな事だと気付く、家族と友情の再生の物語。

ある小さなスズメの記録

クレア・キップス

文藝春秋／¥770

一羽の小さな鳥との出会いと別れ。時に音楽と共に奏で、時に感情をぶつけあう。互いへの敬意と慈愛。何という幸福な関係だろう。

猫語の教科書

ポール・ギャリコ

筑摩書房／¥638

猫が書いた、人間と賢くつき合うためのマニュアル本。そう、つけられるのは人間だった! 大鳥弓子描き下ろし漫画も収録。

ポアロ登場

アガサ・クリステイー

早川書房／¥858

名探偵といえば、ポアロをお忘れなく。相棒のヘイスティングズと共に数々の難事件に挑む場面に、読者として参加しませんか?

ストーンサークルの殺人

M・W・クレイヴン

早川書房／¥1,298

型破りな刑事ポーと、コミュ障の分析官ティリーが、足とデジタルの両面から証拠を積み上げ、猟奇殺人犯に迫る姿に痺れます。

あなたに似た人

1・II

ロアルド・ダール

早川書房／各¥836

正に名短編集! かつてミステリマガジンのオールタイムベスト短編部門1位に輝いた名手の「奇妙」と評されたその味をご堪能あれ。

園芸家12カ月

カレル・チャペック

中央公論新社／¥770

「見たまえ、これらの花を。まったく女の子のようだ」—美はうつろえど、園芸家だけはほろびない。園芸愛好家の熱狂に満ちた一年。

月は無慈悲な夜の女王

ロバート・A. ハインライン

早川書房／¥1,320

宇宙船もミサイルも持たぬ月世界人は地球から独立すべく奮闘。勝利の鍵は自意識を持つコンピューター。読み出したら止まらない!

乗客ナンバー23の消失

セバスチャン・フィツェック

文藝春秋／¥1,089

各々の思惑を持って豪華客船に乗り合わせた登場人物。恐ろしい船の秘密とは? 作者が仕掛けた真相は? 物語はスリリングに展開!

デミアン

ヘルマン・ヘッセ

新潮社／¥572

年を経て久しぶりに読んでみると、眠っていた思春期の「思い」が蘇る。最終章の解釈が変わったのは重ねた年月の成せる業か?

地下鉄道

コルソン・ホワイトヘッド

早川書房／¥1,232

黒人奴隷を逃がすための地下鉄道を描いたフィクション。著者は2年連続ピュリッツァー賞を受賞。配信での映像化も話題。



道誉と正成

安部龍太郎

集英社／¥924

尊皇思想の忠臣と祭り上げられた正成。一方、二股業豪と擲擧された婆婆羅大名道誉。その実は…。安部龍太郎が描く南北朝の争乱。

半七捕物帳

江戸探偵怪異譚

岡本綺堂

新潮社／¥605

江戸のシャーロック・ホームズ、岡っ引の半七親分が解き明かすのは殺人・怪異・怪談の難事件。全69編より宮部みゆきが選ぶ傑作選。

秀吉の活

木下昌輝

幻冬舎／¥1,045

天下人へと駆け昇った秀吉の就活、婚活、妊活、終活…。「活」という一語を軸に新しい切り口で描く波乱の生涯。

猫の傀儡

西條奈加

光文社／¥726

なんと主人公は江戸に暮らす猫。呑気に生きる若者が猫に操られ、猫たちを救い、人間の問題まで解決する、人情? 時代ミステリー。

お勝手のあん

柴田よしき

角川春樹事務所／¥748

「紅屋」のお勝手女中見習いとして懸命に働く主人公おやすの成長物語。応援せずにはられません。そして必ずお腹が空きます。

峠 上・中・下

司馬遼太郎

新潮社／

上¥880 中¥935 下¥781

上田藩も出兵!最後の武士と言われた河井継之助の生き方に影響される一冊です。映画公開も待ち遠しい。

あの日、松の廊下で

白藏盈太

文芸社／¥748

案外これが真実なのは?苦労性の旗本、樅川殿から見た全く新しい忠臣蔵の誕生です。「まあまあ!まあまあお二方!」

雄気堂々 上・下

城山三郎

新潮社／上¥781 下¥825

雄気堂々、斗牛を闘く。渡仏から帰国した渋沢栄一は「八百万の神達、神計りに計りたまえ」大隈の言葉に新しい国造りに邁進する。

八朔の雪

みをつくし料理帖

高田郁

角川春樹事務所／¥607

料理だけが自分の道と信じ、女ながらにその道を目指す澤の奮闘記。「料理は料理人の器量次第」。澤の作る一品一品が美味しう!

花のあと

藤沢周平

文藝春秋／¥682

市井の人々の明日をも知れない日々暮らしが綴られる。思いは現代と何ら変わらない人間模様、空模様。美しい短編小説。

おれは清麿

山本兼一

祥伝社／¥792

信州に生まれた清麿が江戸で不朽の評価を得るまでの一代記。刀に魅了された幕末最後の天才刀鍛冶の、ひたすらに波瀾万丈な生涯。



日航123便墜落の

新事実

青山透子

河出書房新社／¥880

曖昧な報告書、様々な目撃証言から感じる違和感。米軍、自衛隊、政府の影も感じざるを得ない。真相解明が待たれる。

面白くて眠れなくなる

植物学

稲垣栄洋

PHP研究所／¥814

例えば、バナナを食べる時に種を意識する事は無い。植物が動かない理由を考えたことも無い。植物とはかくも不思議で面白い。

死体は語る

上野正彦

文藝春秋／¥627

もの言わぬ死体は嘘をつかない。そんな彼らの声を拾い上げてきた元監察医が対面した数々の事件。法医学とは死者との対話である。

鳥類学者だからって、

鳥が好きだと思ふなよ。

川上和人

新潮社／¥649

鳥の生態や調査エピソード、外来生物、生態系保全、アカデミックな内容でありながら笑える小ネタ満載で大爆笑必至!!

敗れざる者たち

沢木耕太郎

文藝春秋／¥770

スポーツに命を懸け燃え尽きていった名選手たち。その生き様が生き生きと描かれる。沢木耕太郎の名作が新装版となって甦った。

渋沢栄一自伝

渋沢栄一

KADOKAWA／¥1,100

これを読んで「言っていることとやっていることが違う」とツッコミながら大河を見ましよう。世相の描写が精緻な優れた歴史書。

すごい宇宙講義

多田将

中央公論新社／¥990

理系じゃない人に読んでほしい。宇宙についての思考が魅力的かつクリアに解説。先人たちの偉業に驚愕感嘆必至。面白さ100%!

あなたの脳のしつけ方

中野信子

青春出版社／¥979

脳科学的視点から見つけた「脳の動かし方で人生も変える」方法。脳のスイッチを入れてみませんか?

失敗学のすすめ

畑村洋太郎

講談社／¥671

福島原発事故の際、大きく注目された本書。あれから10年、我々はこの本を改めて読み返す時期ではないでしょうか。

日本百名山

深田久弥

新潮社／¥990

あまりにも有名すぎる山登りのバイブル。短い文章ながら、山々の個性や美しさを際立たせる。目指せっべん!

伝わるちから

松浦弥太郎

小学館／¥550

コミュニケーションに悩んでいる、上手く相手に思いを届けたい。そんな貴方の相棒になる一冊です。芸人イモトアヤコも絶賛。

モチーフで読む美術史

宮下規久朗

筑摩書房／¥924

西洋絵画に繰り返し登場するモチーフ一つひとつの持つ意味が、美しい言葉で綴られています。絵を観るのが何倍も楽しくなる一冊。

禁忌習俗事典

柳田国男

河出書房新社／¥990

忌むべき言葉は忘れ去られても、習慣として残り、我々の行動を、更には意識を規定している。全集未収録の貴重な一冊。

文豪の凄い語彙力

山口謠司

新潮社／¥605

「文豪」たちが紡ぎ出した魅力的な言葉の数々。日本語ってこんなに素敵だったんだと再認識。

自閉症の僕が

跳びはねる理由 1・2

東田直樹

KADOKAWA／各¥616

私の近くにいつも跳びはねている3才の子がいます。この本を思わず手に取った理由。どんな学術書より著者の言葉に納得できます。

本を読む本

M. J. アドラー

講談社／¥1,177

知的活動としての読書をより効果的に行うための技法書。世界各国で半世紀にわたり読み継がれる読書術の金字塔。

荒野へ

ジョン・クラカワー

集英社／¥924

何故彼は全てを捨て荒野を目指したのか。恵まれた環境以上に魅力

的なものがそこにあったのか?極限状態で彼が見出した真理とは。



残るは食欲

阿川佐和子

新潮社／¥506

人は食わずにいられない、ならば楽しく美味しく!自粛生活が続くなか「食欲」と「読書欲」ぐらいは存分に楽しみたい。

自分の中に孤独を抱け

岡本太郎

青春出版社／¥792

孤独とは。自分とは。深く深く心に響く、岡本太郎の言葉。

どくとのマンボウ

航海記

北杜夫

新潮社／¥506

船医として漁船に乗り込み、世界を旅する作者が羨ましい。古さを感じないのは、北杜夫のユーモアセンスの成せる業。

わたしの献立日記

沢村貞子

中央公論新社／¥755

毎日の料理が並ぶ食卓を想像しながら読んでほしい。女優として、また妻として生きた、沢村貞子の素顔がみえてくる。

大人のための「怖いク

ラシック」 オペラ篇

中野京子

KADOKAWA／¥924

ほんの少しの「怖い」を添えた、分かりやすく簡単なオペラ入門指南書。一度は見てみたいけれど難しそう…という人のための一冊。

旅をする木

星野道夫

文藝春秋／¥660

読んでいるだけで、アラスカの自然やしびれる寒さを味わうことができます。旅行へ行けないこのご時世にこそ、ぜひ本で旅を。

永遠のおでかけ

益田ミリ

毎日新聞出版／¥660

「[大丈夫ですよ]というこぼを聞いて一日を終えたかった!—そんな日もあるよね。ミリさんの言葉はいつも心の隙間に沁みる。

どうやらオレたち、

いずれ死ぬっつーじゃないですか

みうらじゅん

リリー・フランキー

新潮社／¥605

仏教思想や孔子からロック、エロまで。居酒屋で交わされる、ふざけた大人ふたりの会話。その中にある真理が時に刺さる。

父の詫び状

向田邦子

文藝春秋／¥693

あの飛行機事故から40年。今なお愛されている向田邦子の原点とも言える作品。遠くなくなってしまった昭和の暮らしと思いが甦る。

京都の平熱

鷲田清一

講談社／¥1,078

京都で生まれ育った哲学者、鷲田清一氏が描く「平熱の京都」。読むだけで旅の気分が味わえる本です。

いつかどこかで

谷川俊太郎

集英社／¥682

永遠の童心を感じる、谷川俊太郎の子どもの詩を厳選。すこやかで、おだやかで、しなやかな作品集。